

土壌動物観察会

～身近な環境の生物多様性～

主催： 東京学芸大学

担当者： 狩野 賢司（東京学芸大学自然科学系広域自然科学講座生命科学分野准教授）

実施日： 平成21年7月28日（火）

実施場所： 東京学芸大学

参加費用： 無料（ただし、交通費と個人の持ち物をご負担ください）

対象： 小中学校教員

定員： 20名（申込みが定員に達したところで締め切ります）

申込み方法： メールで下記宛てに申し込んでください

申込み／問い合わせ先： 〒184-8501 小金井市貫井北町4-1-1

東京学芸大学自然科学系 田 艶

E-mail: tianyan@u-gakugei.ac.jp（件名は「理数科支援事業」としてください）

集合場所： 東京学芸大学自然科学棟生物実験室

（武蔵小金井駅北口より「小平団地行き」バス乗車・学芸大正門前下車5分）

集合日時： 平成21年7月28日（火） 午後1時

解散時間： 午後5時（予定）

持ち物： 土壌採取に適した服装・靴および筆記用具・ノート



都会の学校でも土壌さえあれば多様な動物たちを見ることができます

都会の学校でも土壌さえあれば 多様な動物たちを見ることができます

多くの小学校教員が「身近な動植物の観察」を苦手な授業単元としているようです。そこで、どの地域でも、都会の真ん中の学校でも観察できる土壌動物の観察法を習得してみましましょう。土があるところなら、たとえば花壇の土や街路樹の根本などの土の中にも土壌動物が暮らしています。そのような土を採集してきて、簡単な装置を用いることで簡単に土壌動物を見ることができます。わずかな土の中にも多様な種類の土壌動物が観察できることに驚かれることと思います。また、土壌の質や落ち葉の種類、採集する場所の深さなど、土壌によりその中に含まれている種類は異なります。身近な場所の、わずかな土のサンプルから、このように多様な土壌動物の世界を観察してみませんか？きっと、いざというときの観察・実験として活用できると思います。